

AI駆動型エンジニアリング

データを中核としたアプローチ

高品質な要求定義から開始

効率的なキャリブレーション

効率的なテストケース作成

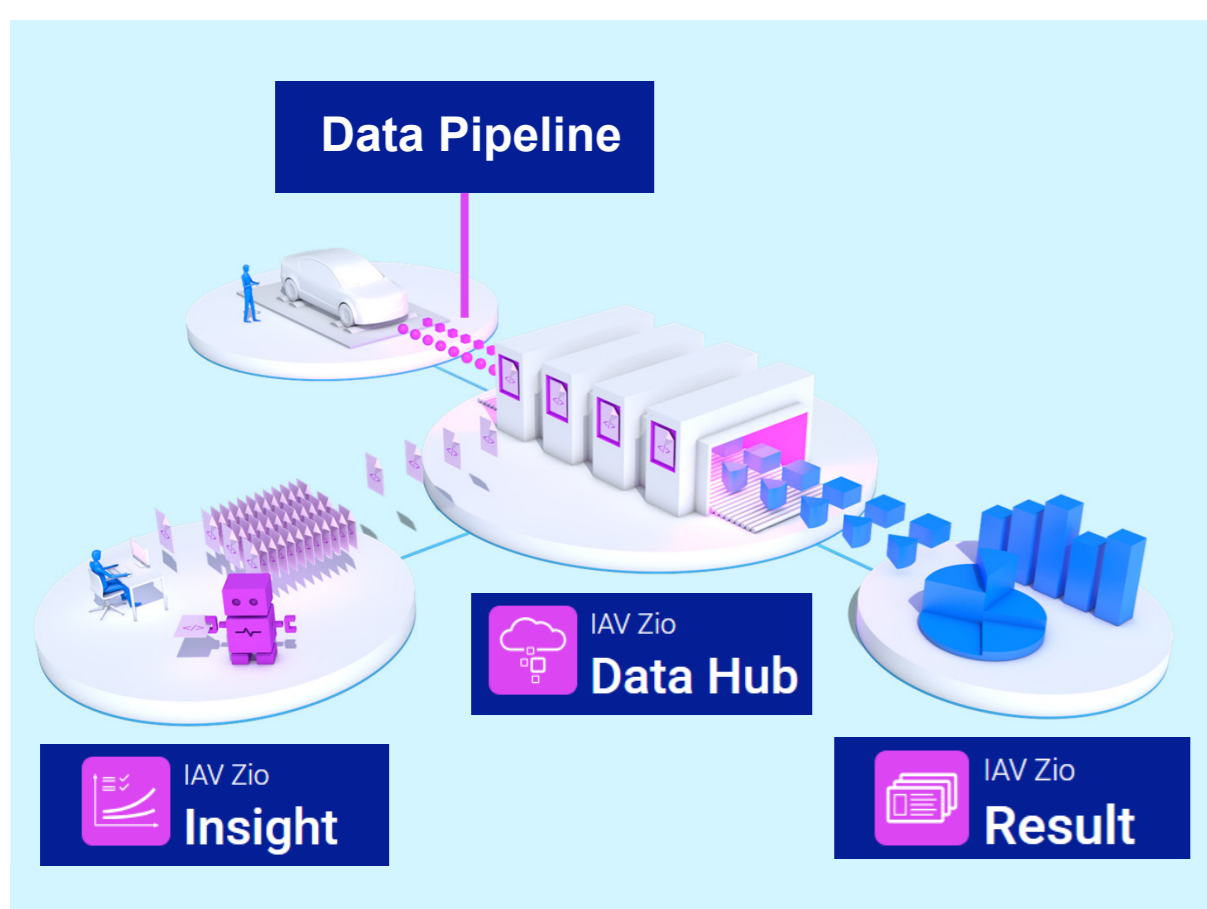


品質向上の目的で
フィールドデータを活用

重要なポイントに
絞ってテストする

テストの自動化

データから有益な
知見を得る



データを中核としたアプローチ:

- クラウドベースで集中管理されたデータ/メタデータ管理
- 要求定義からテストエビデンスまでのエンドツーエンドのトレーサビリティ確保
- 分析/AIサービスとのシームレスな統合

主なメリット

- ハードウェア/人件費の削減
- 開発/テストサイクルの短縮
- 品質向上/規制対応力の強化
- 拡張性のあるデータドリブンなエンジニアリングプロセス

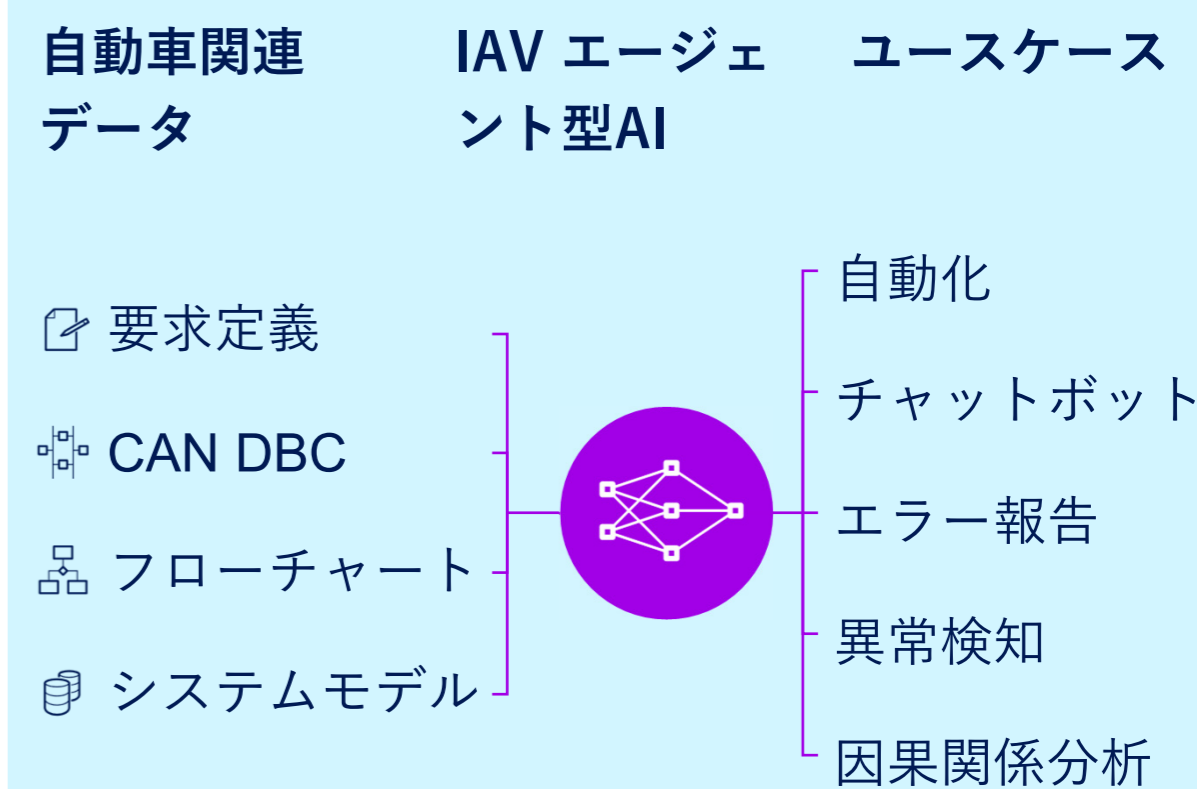
従来型のエンジニアリングでは、組織的な分断が生じている：要求定義/テスト/データ/運用が、ツールや組織単位ごとに分断されて管理されているケースが多い。

AI駆動型エンジニアリングは、これらの世界を統合し、ライフサイクル全体にわたってAIにより支援される、統合型/データドリブンなエンジニアリングアプローチを実現する：

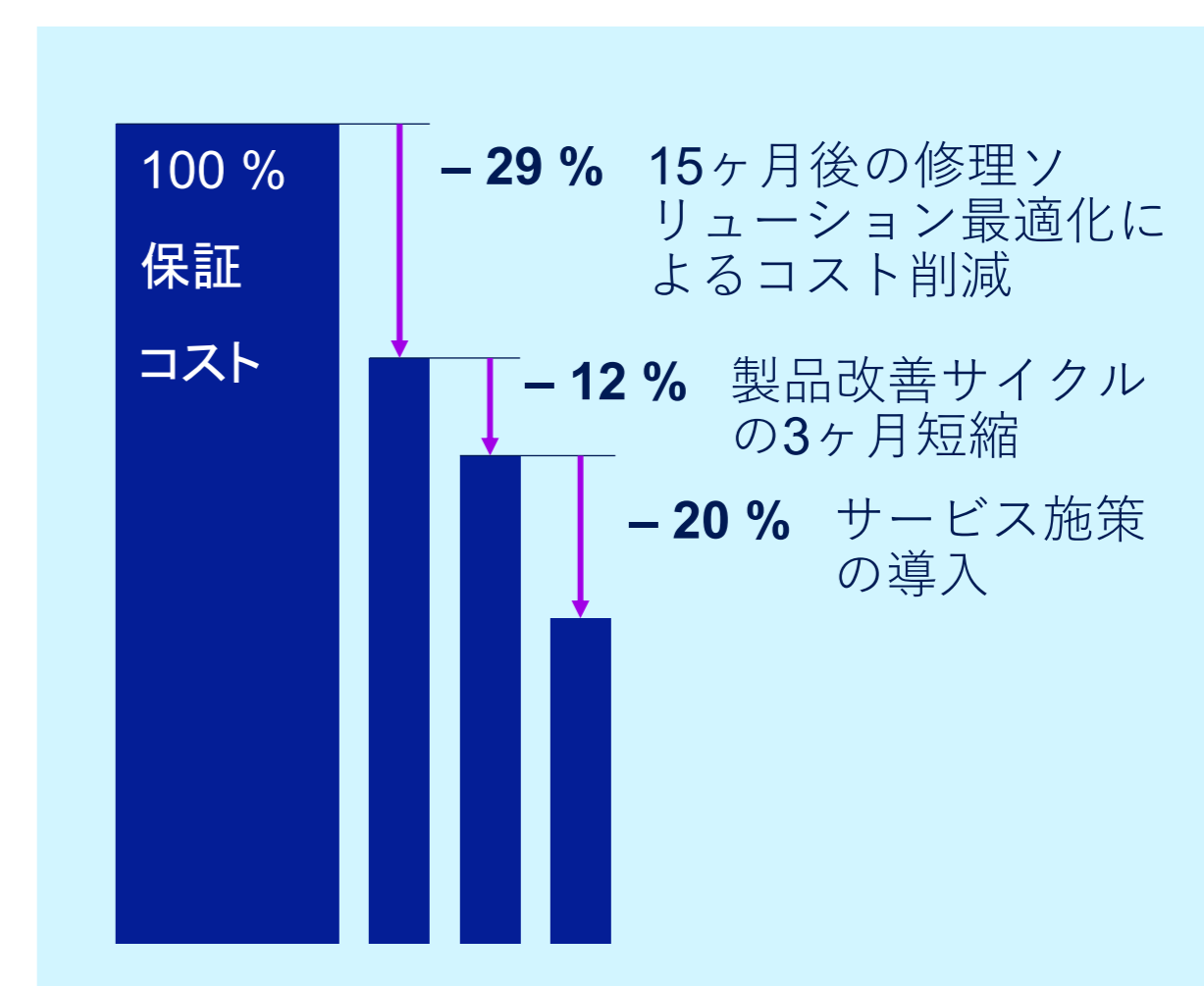
生成 - AIを活用して、要求定義/シナリオ/テストを生成する

テスト - 知的なテスト選択/仮想化/自動化により、本当に重要なテストに集中する

運用 - フィールド/運用データをフィードバックして、継続的に品質/効率を向上させる。



自動車エンジニアリングデータと技術的文脈を理解する **IAVのエージェント型AI** - 受賞歴を持つ機械学習アルゴリズムを搭載



AIによるフィールドデータ分析を通じた大幅なコスト削減



お問い合わせ: contact@iav.jp

